

第2回理事会・合同委員会

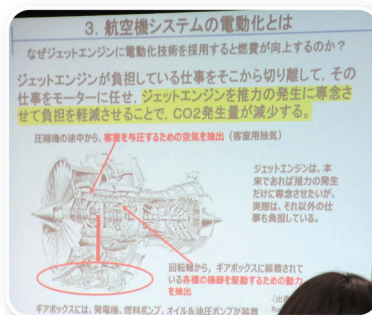
10月31日（金）第2回理事会と第2回合同委員会が秋田県生涯学習センターで開催されました。

午前中の理事会では、事務局から、10月までの活動報告と11月以降の予定についてと、来年度から5年間の高校生総合補償制度について、これまでと同様に、引受保険会社が損害保険ジャパン株式会社に決定したことが報告されました。

午後からは、秋田大学電動化システム共同研究センター長の 榊 純一 氏 から「**あきたを翼にのせてはばたけ！～未来の秋田を担う子供たちへの期待～（航空機システムの電動化の研究開発）**」という演題でご講演いただき、航空機電動化の研究開発が秋田で行われていることを紹介いただきながら、子どもた

ちの進路選択について夢のあるお話を伺うことができました。講演後の質疑応答でも多くの質問が出され、大変有意義な研修となりました。

その後の合同委員会の各分科会では、前期の活動を振り返りながら、後期の活動や11月28日（金）に開催された教育懇談会の懇談事項についての協議が行われました。



電動化システムについてはこちらから↓



令和
7年度
善行賞

高P連では社会を明るくするような善行を行った個人・団体を毎年表彰しています。
今年度は団体の部4団体、個人の部3件6名を表彰いたします。

善行賞規程と
表彰者は
こちらから



編集後記

会報第137号を手にとっていただきありがとうございます。秋田県高等学校PTA連合会の在り方も含めて皆様方に、どのように情報提供をするかを調査広報委員会のメンバーで考えた1年でした。

活動内容も含めて有意義な情報を、紙媒体だからこそ伝わる内容にこだわり、今後の広報紙の在り方も含めて議論を続けてまいりました。持続可能な団体として限られた予算の中で、学校・保護者・地域との連携も含めて、皆様方に必要とされる高P連としての活動内容を発信していきたいと思ひます。今後ともよろしくお願いいたします。



編集会議の様子

高校生総合補償制度－傷害総合保険のご案内－

大切なお子さまを学校が休みの日でも24時間365日補償します！

【お子さまのケガ、個人賠償責任、いじめなどのトラブル】

※自転車事故限定プランは補償内容が異なります。

ご加入手続きは、WEBで簡単申込み！24時間いつでも、スマートフォンやタブレットからアクセス可能です！※新2、3年生も中途加入可能です。下記の事務幹事代理店までご連絡ください。

補償内容（2025年度入学者用）は、下記の2次元コードからもご覧になれます。



Point！ 自転車搭乗中の事故が増えています

高校生総合補償制度では、ご本人のケガのほか、個人賠償責任補償で他人への賠償事故に備えられます。示談交渉サービス付（日本国内のみ）で安心です。



★秋田県自転車条例にも対応！★

学校単位の交通安全講習なども承っております。下記の事務幹事代理店までご相談ください。

△万一に備えてヘルメットの着用を。

おしよ 弁護のちからのご案内

いじめ・SNS被害・自転車との衝突による被害など

上記の法的トラブルにあった時の弁護士費用をサポートします。

【弁護士費用保険金、法律相談・書類作成費用保険金】

▼「弁護士紹介サービス」
▼「被害事故・嫌がらせ相談窓口」警察OB・OG等
トラブル対応の専門コンサルタントにお電話でご相談

無料！

お問い合わせ先

●事務局
秋田県高等学校PTA連合会
TEL 018-863-6681

●事務幹事代理店
秋田県保険代理業協同組合 株式会社アキタ保険
秋田市山王6-5-9 TEL 018-864-6921（平日9時～17時）

●引受保険会社
損害保険ジャパン株式会社 秋田支店秋田支社
秋田市大町3-3-15 TEL 050-3788-3553（平日9時～17時）

○上記は概要を説明したものです。詳しい内容については、事務幹事代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。10月27日以降のお申込みは上記事務幹事代理店へご連絡ください。
○保険契約者（団体）は、本契約に関する個人情報、損保ジャパンに提供します。
○損保ジャパンは、本契約に関する個人情報、本契約の履行、損害保険等損保ジャパンの取り扱い商品・各種サービスの案内・提供、等を行うために取得・利用し、その他業務上必要とする範囲で、業務委託先、再保険会社、等（外国にある事業者を含みます。）に提供等を行う場合があります。また、契約の安定的な運用を図るために、加入者および被保険者の保険金請求情報等を契約者に対して提供することがあります。なお、保健医療等のセンシティブ情報（要配慮個人情報を含みます。）の利用目的は、法令等に従い、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定します。個人情報の取扱いに関する詳細（国外在住者の個人情報を含みます。）については損保ジャパン公式ウェブサイト（<https://www.sompo-japan.co.jp/>）をご覧ください。ご加入いただくか、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。（SJ25-12827 2026/1/14）
加入者および被保険者は、これらの個人情報の取扱いに同意のうえご加入ください。

秋田県

高P連 会報 No.137

発行／秋田県高等学校PTA連合会 事務局／秋田市山王中島町1-1 秋田県生涯学習センター5F TEL018(863)6681 印刷／秋田中央印刷株式会社



10月15日に開催された第38回輝き会員交流会の集合写真



東北高P連秋田大会に向けて

秋田県高等学校PTA連合会
会長 菊地 佐起子

平素より、本PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年度の活動も皆様のお力添えをいただきながら、輝き会員交流会をはじめとする各事業が予定通りに進んでおります。県北、中央、県南3地区の交流大会の講演では地元の若者と連携して、新たな地域おこしに取り組んでいる実践例が3地区とも紹介されており、PTA活動でも参考にしていきたいと感じました。

そして今年は、7月9日～10日に秋田市で開催されます、第75回東北地区高等学校PTA連合会秋田大会が控えております。大会の成功に向けて、中央地区の各高校さんを中心に準備委員会を発足し、本格的な準備が始まっております。大会の企画・運営に積極的に参画し、保護者・教職員が共に学び、交流を深められる機会を創出できるよう尽力してまいります。

この大会は、保護者、教職員、そして地域が一体となって

子どもたちを支えるという私たちの共通の目標を再確認し、互いに学び合い、連携を深める絶好の機会です。大会の準備、当日の運営、そして皆様の積極的なご参加とご協力が不可欠です。「子どもたちのために、今何ができるか」を共に考え、実践していくPTA活動を目指してまいります。「できる人が、できる時に、できることを」を大切に、保護者の皆様が多く、やりがいを感じられる活動にしていきたいと考えております。全県一丸となって秋田大会を盛り上げていきましょう。

最後に、子どもたちにとって人生で一度きりの大切な高校生活が充実したものとなりますよう、共に見守り支えあっていけたらと思っております。

皆様には、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

告知

令和8年度第75回東北地区高等学校PTA連合会 秋田大会

期日 令和8年7月9日(木)～10日(金)

会場 あきた芸術劇場ミルハス・ANAクラウンプラザホテル秋田

大会テーマ

つながる絆 踏みだそう 明日への一歩
～子どもたちの応援隊は郷土にある～

大会概要はこちらから↓



第74回 全国高P連大会2025三重大会 開催

8月21日(木)・22日(金)の2日間、三重県津市の津市産業・スポーツセンター(日硝ハイウェイアリーナとメッセウイングNHW)を会場に第74回全国高P連大会2025三重大会が開催されました。「集い、想い、継ぐ」～三つの重なる明日への力～をテーマに、直接参加が約5,300人、アーカイブ視聴申込が240校と、全国各地からたくさん的高等学校PTA関係者がこの大会に参加しました。秋田県からの参加申込は直接参加が12校23人、オンライン参加が1校でした。



武部副大臣の挨拶

大会は第1日目は全体会(開会式・表彰式)と4つの分科会、第2日目は記念講演と閉会式が行われました。表彰式

では秋田県から男鹿海洋高校PTAとゆり支援PTAの全国大会会長表彰など、2団体3名が表彰されました。

記念講演は井村屋株式会社の代表取締役会長の 中島 伸子氏による「**尊厳は明日の力**」～壁を開ける手中の鍵～で、大学時代に北陸トンネル火災事故に遭遇した経験をはじめ、アルバイトから経営者になるまでの道のりなどを語っていただき、講師の波乱万丈の人生を通して、PTA活動や子育てにつながる多くの学びが得られる講演でした。



記念講演 中島 伸子氏



相可高等学校
食物調理科の
発表と弁当



四日市商業高等学校ギター・マンドリン部



受賞者を祝う会

祝

**全国表彰
おめでとうございます**

〈団体表彰〉

秋田県立男鹿海洋高等学校
秋田県立ゆり支援学校

〈個人表彰〉

秋田県立秋田明徳館高等学校
吉川 ひかる
秋田県立増田高等学校
鈴木 真理子

〈役員表彰〉

秋田 令和高等学校
佐沢 かな子

個人表彰を受賞した
秋田明徳館高等学校
吉川ひかる前会長

全国高P連 優良団体表彰を受賞して

秋田県立ゆり支援学校 PTA会長 金子宗元



受賞したゆり支援学校
金子宗元会長

ゆり支援学校は、優良なPTA活動(すぐれた活動を通して生徒の健全育成と地域の高等学校教育の振興に多大な貢献を為している)団体として、「全国高等学校PTA連合会会長表彰」を受賞いたしました。被受賞78団体中、支援学校・養護学校は4校のみで、東日本では、ゆり支援学校のみでした。

ゆり支援学校は、県内唯一のコミュニティスクール

が充実して運営されており、保護者のみならず地域の方々のご理解やご支援をいただきながら、一体となってPTA活動が運営されていることに特色があります。全会員が専門部(文化・広報・環境整備)に所属して活動を企画し、教職員と連携して運営しています。特に教育活動と連携しての校外学習や、地域応援活動として植栽やクリーンナップ活動等を行い、地域の学校理解の推進に務めているほか、生徒の自立と社会参加を目的とした保護者研修などが評価されたものと思われます。

この受賞を大きな励みとして、これからも、地域の皆さまと共にPTAを盛り上げていきたいと思ひます。

輝き会員 交流会 報告

色の持つチカラで 自分らしく輝く

輝き委員会 委員長 呼子 和香子



秋の深まりを感じる令和7年10月15日、秋田県生涯学習センターにて「第38回輝き会員交流会」を開催いたしました。全県から多くの会員の皆様にご参加いただき、

実り多き時間を共有することができました。本年度は、講師にイメージコンサルタントの小番理公子先生をお迎えし、「カラフルって楽しい!色を味方に私らしく再発見」という演題でご講演いただきました。小番先生のニューヨークでの研鑽やご経験に基づくお話は大変興味深く、参加者は引き込まれていました。特に盛り上がりを見せたのは、グループ討議で実際に色画用紙を使用した「パーソナル・カラー診断体験」です。グループごとのワークショップ形式で行われ、鏡を見ながら互いに似合う色を探す中で、「顔色が明るくなった」「新しい発見がある」といった歓声が上がり、会場全



体が笑顔と彩りに包まれました。

初対面の会員同士が和やかに打ち解けている様子を見ることができ、私自身、とても感動することができました。日頃のPTA活動や子育ての悩みを共有し、共感し合うことで、明日への活力を得る貴重な交流の場となったと思います。

今回のテーマにあるように、子育てもまた「カラフル」であり、正解は一つではありません。子供の個性がそれぞれ違うように、親としての関わり方も十人十色で輝いてよいのだと、小番先生からエールをいただいた気がします。自分に似合う色が自信を与えてくれるように、私たち保護者自身が自分らしく輝くことで、子供たちの健やかな成長を支える一番の光になるはずです。

皆様にとって、この交流会で得た「彩り」が、明日からの活力となり、日々の暮らしを豊かに照らすきっかけとなれば幸いです。ありがとうございました。



告知

令和8年度第75回全国高等学校PTA連合会大会 2026大分大会

期日 令和8年8月20日(木)～21日(金)

大会概要はこちらから!



会場 (全体会) 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ
(分科会) 立命館アジア太平洋大学、J:COM ホルトホール大分、iichiko グランシアタ

大会テーマ 湯ごころ 真ごころ 親ごころ
～輝く未来を切り開け～



地区交流大会報告

県北地区

地域の未来を担う 子供たちの育成のために ～学校・家庭・企業の連携～

能代松陽高等学校PTA会長
米森雄大

県北地区PTA交流大会が能代市を会場に開催されました。ご参加いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。少子化や地域の担い手不足が進む中、子どもたちが地域と関わり、役割や居場所を実感できる機会は減少しています。学校・家庭に加え、企業や地域と連携しながら子どもを育てていくことが、今のPTAに求められています。本セミナーでは、合同会社のしろ家守舎 代表社員・湊哲一氏を講師に迎え、「ちいさな幸せから広がる未来」をテーマにご講演いただきました。能代駅前空き店舗再生や、多世代が集う拠点づくりの実践からは、大人が地域を楽しみ、挑戦する姿そのものが、子どもたちの学びにつながることを教えていただきました。DIYではなく、共につくる「DIT」という考え方は、人との関わりや失敗も含めた体験が、地域への愛着と次の挑戦を生むことを示しています。子どもたちが地域の中で役割を持ち、小さな成功体験を積み重ねることが、未来への力となります。PTAとして、学校・家庭・企業・地域をつなぐ架け橋となり、子どもたちの「ちいさな幸せ」を育み、未来へ広げていきたいと考えています。



能代松陽高校 米森会長の歓迎あいさつ



湊哲一氏による講演



木工体験（木の学校）

中央地区

秋田県が直面する 人口減少の現状を共有し、 PTAとして今なにができるのか、 これから何をすべきか

聖霊学園高等学校PTA会長
清水隆成

令和7年度中央地区PTA交流大会は、教育庁や校長協会から来賓を迎え、多くの会員の皆様にご参加いただきました。全体会の講演では、秋田魁新報社の松川敦志氏から、「人口減時代、われわれができること」と題して、秋田県が抱える人口減少の現状と背景、「秋田には何もない」という固定観念からの脱却、そして、大人が若者に「シビックプライド」を示す重要性が語られました。全体会に続くアトラクションでは聖霊学園高等学校ハンドベル部による演奏が行われ、優しいベルの音に心癒やされる時間となり、大変好評でした。情報交換会では、会員同士のみなさんで大いに交流を深める時間を過ごすことが出来ました。今大会にご協力をいただきました関係各位の皆様、ご参加いただきました会員の皆様に改めて感謝を申し上げます。



松川敦志氏による講演



聖霊学園高校 ハンドベル部演奏



全国高総文祭 マスコットあきたばの出迎え

来年度の地区交流大会は東北大会の秋田県開催により休止します。

県南地区

地域とともに育てる “自立する高校生” ～VUCA時代を生き抜く力と Well-Being～

横手高等学校PTA会長
伊藤俊也

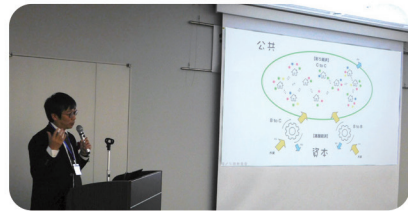
令和7年度県南地区PTA交流大会が11月21日、横手市の「よこてシャイニーパレス」にて開催されました。来賓の方々をはじめ多くの会員の皆様にご参加いただきましたこと、心より感謝申し上げます。今回は特定非営利法人Yokotter理事長、細谷拓真氏をお迎えし、「**医者とときどき異者 地域と共に育む“自立する高校生”のための未来設計 ～VUCA時代を生き抜く力とWell-beingを育てるために～**」と題し講演をいただきました。私たちを取り巻く環境の変化や、様々な技術の進歩もあり将来の見通しや展望が見えづらくなってきたこの時代に、まちづくりも含めた地域の在り方、キャリアプランの構築について示唆に富んだ講演でした。また、菊地会長からは来年度に開催される東北地区高等学校PTA連合会秋田大会についても情報をいただき、協力体制を整えてゆく必要性を感じました。情報交換会でも、活発な意見交換が行われ、参加者の交流をさらに深めることができました。ご参加いただきました皆様に改めて御礼申し上げます。



横手高校 伊藤会長の歓迎あいさつ



講師の細谷拓真氏



講演の様子

各委員会からの活動報告

総務委員会

委員長
金子宗元

総務委員会では、教育懇談会を企画し、11月28日に開催いたしました。この会は、県教育委員会高校教育課・生涯学習課・校長会等の担当者と県高P連役員で意見を出し合い、相互に理解を深める会として例年開催しております。今回は、①教育全般（クマ被害防止に向けた研修や地域関係機関との連携）・②生徒指導（来年の道路交通法一部改正に向けた自転車乗車時ヘルメット着用推進・不登校生徒への対応）・③進路指導（県内就職促進や各校のキャリア教育の取組）・④学習指導（学習用端末を学校に持ち込むBYODに関わる取組や課題）などを懇談課題としました。これらに対し県教委各担当課より、資料を用い詳細にご回答をいただいた上で懇談いたしました。

懇談では、クマ対策としては、秋田県自然保護課による研修会の紹介や県庁出前講座などの紹介、交通安全指導には、スケアード・ストレイトによる講習の導入紹介、またキャリア教育についての各校の取組などについて話し合わせ、有意義な懇談となりました。



教育懇談会 菊地会長のあいさつ



生涯学習課 田口リーダーのあいさつ

進路対策委員会

委員長
齋藤正樹

令和7年度の進路対策委員会では10月31日第2回合同委員会に秋田大学、秋田県立大学の学長特別補佐で電動化システム共同研究センター長の榎純一先生を講師として迎えて秋田の地で航空機システムの電動化の研究開発が行われている状況と未来の秋田を担う子どもたちへのメッセージを踏まえた講演会を開催いたしました。今回の講演会は多くの方に参加していただきたくPTA会員の皆様への一般公開といたしました。ご講演では高校生の進路選択には保護者の影響が強い事とか理系女子が増えているが進学先が「医療・看護系」「食物系」等で工学系は少数である事などの進路事情を知る事が出来ました。また航空機の研究開発の秋田での取り組み、これから電動化センターの目指す处などのお話をいただき、秋田で最先端技術の研究が行われている事を知りとても有意義な講演会になりました。

委員会の中では今後AIの時代における学びの変化などについての講演会があれば、親子で考える時間に繋がるのでは等の意見もありました。



講師の榎純一氏



講演の様子

健全育成委員会

委員長
前田周平

健全育成委員会の今年度の活動は、昨年度に引き続き「登校時一声運動、マナーアップ運動の推進および実施状況の調査」「自転車保険加入、ヘルメット着用状況および薬物乱用防止の指導に関する調査」について取り組んでまいりました。登校時一声運動とマナーアップ運動においては各校それぞれ独自の取り組みで積極的な活動になっていると認識しております。事務局からビブス、横断幕、のぼりを貸し出し多くの学校で活用していただきました。貴重なコミュニケーションの場として今後も継続したとの声が多く上がっております。通学時のヘルメット着用については昨年度から着用率がほとんど変わらず、今後最も力をいれていくべき課題となります。来年4月からの道交法改正により16歳以上の罰則が強化される中、各校でどのように取り組むか合同委員会で情報交換しました。次年度に向けさらに連携を取りながら好事例を共有していき生徒の安全確保に努めてまいります。



大曲農業高等学校（大曲駅前）



湯沢高等学校

調査広報委員会

委員長
木村美穂

今年度の調査広報委員会の活動は、年2回の会報発行と、県内各高校のPTA広報紙を対象とした広報紙コンクールの審査となっております。

会報第136号では、新年度の定期総会・新役員の紹介や、東北地区高P連仙台大会の様子、次年度開催の秋田大会へ向けて、進捗状況等を記載させていただきました。

東北地区高P連調査広報委員会へ出席し、PTA活動を通じた子供たちの関わり方や、情報発信として、伝わりやすい広報紙をいかにして作成していくかを協議しております。1月16日に広報紙コンクール審査を開催し、上位入賞高校を東北地区高P連広報紙コンクールへ推薦いたしました。今後も、PTA会員の皆さまへ有意義な情報を提供できるように努めてまいります。



審査会の様子



今年度の応募広報紙